

# 島根益田信用組合の経営内容について

～ 平成 27 年度上期の業績と仮決算 ～

当組合は地域との共存共栄をスローガンに掲げ、狭域の中、信用組合の原点に立ち返り「顧客との永い取引関係を維持する」ために、持ち味であるフットワークを活かして営業基盤の拡充を図り、協同組織金融機関として組合員皆様の社会的・経済的地域の向上に役立つことを目標に一層地域に密着し、地域の発展に努めています。

<海岸清掃活動>



<カーブミラー清掃活動>  
(しんくみの日週間)



<献血運動>  
(しんくみの日週間)



<ますだ祭り>



<どろんこドッジボール>

ますしん 友の会 — 小豆島で絶景と伝統の味を堪能する旅 —  
当組合で年金を受給されている皆様等で組織され、  
年1回 (27年度 H27.10.21～10.22) の旅行を実施しております。



【 吉備津神社 】



【 二十四の瞳映画村 】



【 マルキン醤油記念館 】



【 オリーブの丘 】

## ごあいさつ

皆様方には、日頃より島根益田信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。本年もここに「島根益田信用組合の経営内容について（ミニディスクロージャー誌）」を作成いたしましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。当組合は、信用組合の特性を発揮し、地域社会とのふれあい・絆を大切にしております。今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

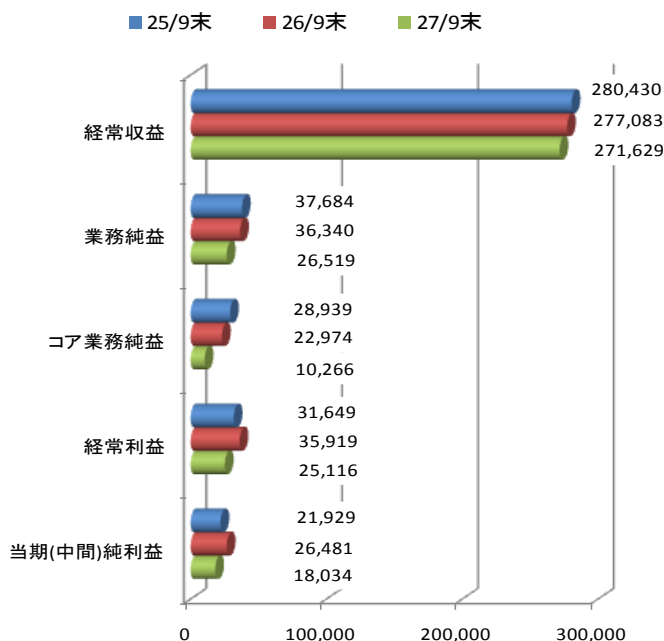
島根益田信用組合  
理事長 大畑寛明

## 1. 損益の状況

売上高にあたる経常収益は、市場競合や市場金利の低下等により資金運用収益が減少し、前年同月比 5 百万円減少(△1.96%)して 2 億 71 百万円となりました。

費用の面では、一般貸倒引当金繰入額や預金利息等が前年同月比 3 百万円減少した事から業務費用は 1 百万円減少(△0.75%)し 2 億 37 百万円となりました。個別貸倒引当金が前年同月比 6 百万円増加した事により、経常費用は前年同月比 5 百万円増加 (2.21%) の 2 億 46 百万円となりました。それにより、業務純益は前年同月比 9 百万円減少(△27.02%)の 26 百万円、コア業務純益は前年同月比 12 百万円減少(△55.31%)の 10 百万円と減少致しました。経常利益は前年同月比 10 百万円減少(△30.07%)の 25 百万円 となりました。

以上の結果から、最終的な純利益については、前年同月比 8 百万円減少(△31.89%)して 18 百万円となり、平成 27 年 9 月末の仮決算は減収減益となりました。



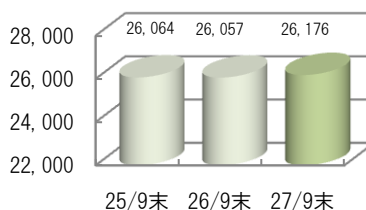
## 2. 預金・貸出金の状況

### (1) 預金

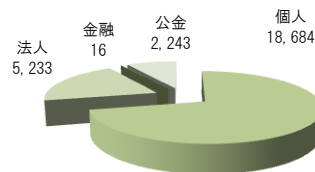
預金残高は、平成 26 年 9 月末 26,057 百万円から 119 百万円増加し、平成 27 年 9 月末 26,176 百万円となりました。

内訳として、公金は 604 百万円減少に対し、個人預金 243 百万円増、法人預金 476 百万円増加と地域のお客様よりお預かりした預金は好調に推移しており、今後も地域のお客様のお役に立つ事を心掛け、預金の増加に取り組んでいきます。

預金残高の推移  
(単位：百万円)



預金者別残高の割合  
(単位：百万円)



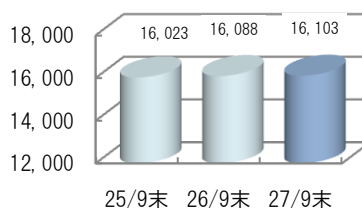
### (2) 貸出金

貸出金残高は、平成 26 年 9 月末 16,088 百万円から 15 百万円増加し、平成 27 年 9 月末 16,103 百万円となりました。

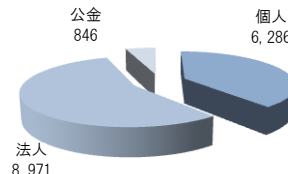
貸出金残高の内訳については、公金 154 百万円減少、個人貸出は 103 百万円減少となったものの、法人貸出については、事業者のニーズを取込み設備資金等の積極的な融資対応により、272 百万円増加となりました。

引続き、地域の発展に繋がるような融資推進を推進に取り組んで参ります。

貸出残高の推移  
(単位：百万円)



貸出先別残高の割合  
(単位：百万円)

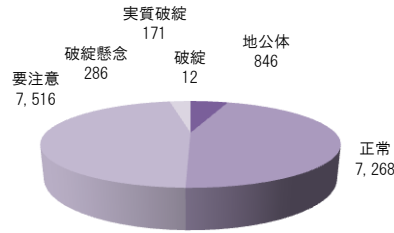


貸出金業種別残高・構成比 (単位：百万円)

	残高	構成比
製造業	947	5.9%
農業、林業	415	2.6%
漁業	7	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	89	0.6%
建設業	2,361	14.7%
電気、ガス、熱供給、水道業	252	1.6%
情報通信業	52	0.3%
運輸業、郵便業	512	3.2%
卸売業、小売業	1,830	11.4%
金融業、保険業	281	1.7%
不動産業	894	5.6%
物品賃貸業		
学術研究、専門・技術サービス業		
宿泊業	54	0.3%
飲食業	523	3.2%
生活関連サービス業、娯楽業	423	2.6%
教育、学習支援業	306	1.9%

	残高	構成比
医療、福祉	110	0.7%
その他サービス	1,481	9.2%
その他の産業	86	0.5%
地方公共団体	846	5.3%
個人(住宅、消費、納税資金等)	4,627	28.7%
合計	16,103	100.0%

債務者区分別貸出金 (単位：百万円)



※債務者区分とは、債務者の財政状態、資金繰り、収益力の状況等により、その返済能力を検討し、債務者を「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の5段階に区分したものです。

3. 財産の状況

資産・負債及び組合員勘定

(単位：千円)

資産の部	26年9月末	27年9月末	負債の部	26年9月末	27年9月末
現金	401,564	350,882	預金	26,057,076	26,176,600
預け金	9,393,389	9,452,996	当座預金	328,732	353,671
有価証券	1,996,793	2,080,728	普通預金	7,887,004	7,902,852
国債	434,635	439,053	貯蓄預金	49,836	41,629
地方債	—	299,589	通知預金	25,000	—
短期社債	—	—	定期預金	16,311,248	16,199,767
社債	1,327,946	1,114,511	定期積金	1,367,906	1,539,350
株式	133,097	131,005	その他の預金	87,349	139,330
その他の証券	101,115	96,570	借入金	—	—
貸出金	16,088,194	16,103,065	その他の負債	78,871	66,055
割引手形	131,440	117,006	賞与引当金	10,195	10,019
手形貸付	199,550	313,500	退職給与引当金	70,612	69,957
証書貸付	14,296,484	14,182,595	役員退職慰労引当金	25,257	27,182
当座貸越	1,460,719	1,489,963	その他の引当金	2,993	4,661
その他資産	181,483	221,993	債務保証	9,166	5,540
有形固定資産	137,754	133,579	負債の部合計	26,254,173	26,360,016
無形固定資産	4,929	4,929			
繰延税金資産	49,403	51,514	純資産の部		
債務保証見返	9,166	5,540	出資金	226,925	227,321
貸倒引当金	△179,875	△185,373	利益剰余金	1,556,809	1,586,923
(うち一般貸倒引当金)	(△94,378)	(△91,438)	評価・換算差額等	44,896	45,595
(うち個別貸倒引当金)	(△85,497)	(△93,935)	純資産の部合計	1,828,631	1,859,840
資産の部合計	28,082,804	28,219,857	負債及び純資産の部合計	28,082,804	28,219,857

損益

科目	26年9月末	27年9月末
経常収益	277,083	271,629
業務収益	275,828	264,203
資金運用収益	252,801	234,326
(うち貸出金利息)	(213,334)	(205,625)
役員取引等収益	9,612	10,553
その他業務収益	13,414	19,323
臨時収益	1,255	7,425
経常費用	241,163	246,512
業務費用	239,487	237,684
資金調達費用	13,026	13,105
(うち預金利息)	(12,959)	(13,088)
役員取引等費用	25,713	24,311
一般貸倒引当金繰入額	—	△2,199
経費	200,748	202,466
臨時費用	1,675	8,828
経常利益	35,919	25,116
業務純益	36,340	26,519
コア業務純益	22,974	10,266
特別利益	—	—
特別損失	—	23
税引前当期純利益	35,919	25,093
法人税・住民税及び事業税	10,449	7,650
法人税等調整額	△1,010	△591
当期(中間)純利益	26,481	18,034

諸利回・諸比率

	26年9月末	27年9月末
資金運用利回	1.85%	1.70%
貸出金利回	2.68%	2.61%
預け金利回	0.46%	0.26%
有価証券利回	1.38%	1.20%
資金調達原価率	1.65%	1.66%
預金利回	0.10%	0.10%
総資金利鞘	0.20%	0.04%
預貸率(末残)	61.74%	61.51%
(平残)	61.68%	60.68%
預証率(末残)	7.66%	7.94%
(平残)	8.00%	8.01%

有価証券の時価情報

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	取得金額	差額
株式	131	115	15
債券	1,949	1,902	47
国債	439	400	38
地方債	299	300	0
短期社債	—	—	—
社債	1,114	1,101	13
その他	96	100	△3
合計	2,080	2,017	63

(注)時価は、9月末日における市場価格等に基づいています。なお、その他は「外国証券」となっています。

## 4. 自己資本の状況

自己資本比率は、27年3月末の13.70%から0.25%低下し、27年9月末13.45%となりました。

国内で業務を行う金融機関の基準である4%の3倍以上という高い水準を維持しております。また、大手銀行等の海外で業務を行う金融機関の基準である8%をも大きく上回る高い水準となっており、健全な経営を行っております。

	27/3末	27/9末
自己資本比率 (A)/(B)×100	13.70%	13.45%
自己資本の額 (A)	1,888	1,904
コア資本に係る基礎項目の額	1,889	1,905
出資金及び資本剰余金の額	227	227
利益剰余金の額	1,577	1,586
外部流出予定額(Δ)	Δ9	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	93	91
コア資本に係る調整項目の額	—	0
リスク・アセット等の合計額 (B)	13,783	14,159

## 5. 不良債権の状況

単位：百万円

金融再生法で定められた開示債権額は、26年9月末の529百万円から65百万円増加し、27年9月末594百万円となりました。

総債権額に占める開示債権額の割合（不良債権比率）については、不良債権額の増加によって、26年9月末3.28%から0.40%上昇し、27年9月末3.68%となりました。

なお、27年9月末の開示債権額594百万円は担保、保証等、引当金による保全額525百万円によって、その債権額の88.43%はカバーされております。

	26/9末	27/9末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	143	197	54
危険債権	303	286	Δ17
要管理債権	82	110	28
開示債権計 A	529	594	65
正常債権	15,580	15,526	Δ54
合計	16,110	16,121	11
担保・保証等 B	381	425	Δ44
貸倒引当金 C	90	100	10
保全額合計 D = B + C	471	525	54
担保、保証等、引当金による保全率 D/A	89.03%	88.43%	Δ0.60%
総債権額 E	16,110	16,121	11
不良債権比率 A/E	3.28%	3.68%	0.40%

## 6. 中小企業の経営支援に関する取り組み状況

少人数体制である当組合では専担者や専門部署の配置はできませんが、少人数体制であるからこそ担当部署である審査部と営業店が密接に連携し、情報を共有しながら税理士等の外部専門家や商工会議所、商工会、信用保証協会等の外部機関と連携を図り、創業支援・実行支援、事業計画の策定支援・実行支援、経営改善計画の策定支援・実行支援、経営状況の分析、金融・財務相談などに取組んでいます。

### ●創業・新規事業開拓の支援

商工会議所、商工会、信用保証協会等と連携し、創業計画の策定支援を行いながら創業資金等の融資対応を行いました。

(平成27年度 上期)

融資実績3先(飲食業1、運送業1、コンビニ1) 26百万円

### ●経営改善・事業再生・業種転換等の支援

条件変更等対応先のなかからモニタリング先(経営状況のヒアリング、分析、金融・財務相談など)や経営改善計画策定支援先(経営改善計画の策定・実行支援など)を指定し、日々の訪問活動を通じたコンサルティング活動や経営指導に取り組んでいます。

(平成27年度 上期)

モニタリング先 26先

経営改善支援先 8先

島根益田信用組合

〒698-0024 島根県益田市駅前町14番23号 TEL0856-22-3030 FAX0856-23-6250  
E-mail masushin@beach.ocn.ne.jp http://shimanemasushin.com/